



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月3日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ミューチュアル
 コード番号 2773 URL <http://www.mutual.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 榎本 洋
 (氏名) 吉野 尊文

TEL 06-6315-8613

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	7,665	△10.5	510	△3.4	534	△4.5	316	△13.0
28年3月期第3四半期	8,564	42.0	528	128.0	560	84.8	364	79.5

(注)包括利益 29年3月期第3四半期 201百万円 (△61.9%) 28年3月期第3四半期 529百万円 (137.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	46.78	—
28年3月期第3四半期	51.31	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第3四半期	13,622	8,218	58.3	1,231.89
28年3月期	15,167	8,701	55.8	1,191.88

(参考)自己資本 29年3月期第3四半期 7,948百万円 28年3月期 8,464百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
29年3月期	—	0.00	—		
29年3月期(予想)				25.00	25.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,600	0.4	1,034	12.3	1,049	9.7	615	2.8	90.76

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期3Q	7,620,320 株	28年3月期	7,620,320 株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	1,168,345 株	28年3月期	518,345 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期3Q	6,776,975 株	28年3月期3Q	7,102,037 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、為替の円安基調による企業業績の回復や雇用・所得環境の改善などにより景気は緩やかに回復してまいりました。しかしながら海外経済においては、中国をはじめとする新興国経済の低迷に加え、英国のEU離脱問題や米国の新政権発足による影響など、不確実性が高まってきており依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況下、当社グループでは営業人員を増強しオリジナル商品の拡販を図るとともに、新工場等に省力化提案をするエンジニアリング業務にも注力して参りました。また技術センター・関東工場におきましては製造能力拡大に加え、品質向上・新製品開発に重点を置き、お客様のあらゆるリクエストに応えられる体制を強化して参りました。売上高につきましては、前期は第3四半期に後発医薬品メーカー向けの大口案件が売上計上となった要因もあり、前年同期比898百万円減少いたしました。損益面におきましては、売上高総利益率が前年同期比3.3ポイント改善したことにより売上総利益は前年同期比80百万円増益となりましたが、サービス費や人件費、租税公課等が増加したことにより販売費及び一般管理費が98百万円増加した結果、営業利益は前年同期比18百万円減少し、以下の段階利益は減益となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は7,665百万円（前年同期比10.5%減）、売上総利益は1,736百万円（同4.8%増）、営業利益は510百万円（同3.4%減）、経常利益は534百万円（同4.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は316百万円（同13.0%減）となりました。

報告セグメントに基づく各事業別の概況は以下のとおりであります。

①産業用機械事業

当セグメントにおきましては、売上高全体では7,243百万円（前年同期比10.6%減）でありました。このうち、改造・調整・修理が1,237百万円（同16.6%増）、検査装置が742百万円（同36.8%増）、部品が677百万円（同19.1%増）と好調に推移いたしましたが、一方では、一連ラインが1,635百万円（同8.0%減）、充填機が1,382百万円（同16.4%減）、包装機が1,123百万円（同13.2%減）、製剤機が444百万円（同63.2%減）と減少しました。

②工業用ダイヤモンド事業

当セグメントにおきましては、売上高367百万円（前年同期比10.2%減）となりました。内訳では、人造ダイヤモンド221百万円（同2.8%増）、パウダー53百万円（同2.8%増）、原石89百万円（同36.9%減）等となっております。

③その他

その他は、主に坐薬用包装資材の販売で売上高54百万円（前年同期比10.9%増）であります。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比1,544百万円減少し、13,622百万円となりました。これは主として貸倒引当金が620百万円減少、仕掛品が539百万円増加する一方で、受取手形及び売掛金、電子記録債権が合計で1,160百万円、現金及び預金が687百万円、破産更生債権等が634百万円それぞれ減少したことによるものです。負債につきましては、前連結会計年度末比1,061百万円減少し、5,404百万円となりました。これは主として、支払手形及び買掛金、電子記録債務が合計で716百万円、前受金が223百万円それぞれ減少したことによるものです。純資産は主として、四半期純利益が316百万円ありましたが配当金の支払いが177百万円あったことで利益剰余金が139百万円増加、自己株式が507百万円増加、その他有価証券評価差額金が172百万円減少したことにより、8,218百万円となり前連結会計年度末比482百万円減少いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期 通期連結業績予想につきましては、前回発表（平成28年5月20日公表「平成28年3月期 決算短信」）から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号平成28年6月17日）第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更に伴う当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,240,976	3,553,286
受取手形及び売掛金	3,294,714	2,471,254
電子記録債権	845,366	508,405
有価証券	42,811	1,869
商品及び製品	71,444	77,144
仕掛品	1,951,438	2,491,283
原材料	68,086	78,540
前渡金	577,106	313,333
繰延税金資産	138,299	183,930
その他	109,835	323,801
貸倒引当金	△2,195	△3,348
流動資産合計	11,337,884	9,999,501
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	589,646	577,017
土地	668,904	668,904
その他(純額)	194,389	185,668
有形固定資産合計	1,452,940	1,431,590
無形固定資産		
その他	19,422	30,879
無形固定資産合計	19,422	30,879
投資その他の資産		
投資有価証券	1,765,534	1,565,057
長期預金	101,500	100,000
その他	1,111,019	495,788
貸倒引当金	△621,014	△354
投資その他の資産合計	2,357,039	2,160,490
固定資産合計	3,829,402	3,622,961
資産合計	15,167,286	13,622,462

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,414,259	2,383,370
電子記録債務	487,645	801,866
短期借入金	261,740	256,520
1年内返済予定の長期借入金	3,324	3,324
未払法人税等	214,932	70,078
前受金	1,400,496	1,177,163
賞与引当金	91,452	54,355
その他	241,654	201,904
流動負債合計	6,115,506	4,948,581
固定負債		
長期借入金	6,399	3,906
退職給付に係る負債	163,813	153,781
役員退職慰労引当金	78,224	81,651
その他	102,342	216,482
固定負債合計	350,779	455,821
負債合計	6,466,285	5,404,403
純資産の部		
株主資本		
資本金	669,700	669,700
資本剰余金	695,975	695,975
利益剰余金	6,655,058	6,794,507
自己株式	△262,493	△769,493
株主資本合計	7,758,239	7,390,688
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	729,771	557,311
繰延ヘッジ損益	△24,996	△126
為替換算調整勘定	1,663	268
その他の包括利益累計額合計	706,438	557,453
非支配株主持分	236,322	269,917
純資産合計	8,701,001	8,218,059
負債純資産合計	15,167,286	13,622,462

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	8,564,022	7,665,905
売上原価	6,907,593	5,929,252
売上総利益	1,656,429	1,736,652
販売費及び一般管理費	1,128,141	1,226,468
営業利益	528,287	510,184
営業外収益		
受取利息	9,462	8,184
受取配当金	20,181	23,109
貸倒引当金戻入額	—	23,041
その他	11,677	8,252
営業外収益合計	41,322	62,587
営業外費用		
支払利息	1,780	1,950
為替差損	—	7,624
投資有価証券評価損	4,040	4,370
会員権評価損	2,525	—
自己株式取得費用	—	20,272
その他	1,106	3,662
営業外費用合計	9,451	37,880
経常利益	560,158	534,891
特別利益		
固定資産売却益	131	—
特別利益合計	131	—
特別損失		
固定資産売却損	15	—
固定資産除却損	196	—
特別損失合計	211	—
税金等調整前四半期純利益	560,077	534,891
法人税、住民税及び事業税	202,790	47,577
法人税等調整額	787	136,433
法人税等合計	203,578	184,010
四半期純利益	356,499	350,881
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△7,930	33,883
親会社株主に帰属する四半期純利益	364,429	316,997

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
四半期純利益	356,499	350,881
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	180,188	△172,398
繰延ヘッジ損益	△9,412	24,869
為替換算調整勘定	2,121	△1,394
その他の包括利益合計	172,897	△148,923
四半期包括利益	529,396	201,958
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	538,700	168,012
非支配株主に係る四半期包括利益	△9,303	33,945

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成28年6月29日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式の取得を決議し、自己株式の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が507,000千円増加し、自己株式は769,493千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	産業用機械 事業	工業用ダ イヤモン ド事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	8,105,441	409,644	8,515,086	48,936	8,564,022	—	8,564,022
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	8,105,441	409,644	8,515,086	48,936	8,564,022	—	8,564,022
セグメント利益	853,920	40,296	894,216	4,423	898,640	△370,352	528,287

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、坐薬用包装資材等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△370,352千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	産業用機械 事業	工業用ダ イヤモン ド事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	7,243,698	367,943	7,611,641	54,263	7,665,905	—	7,665,095
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	7,243,698	367,943	7,611,641	54,263	7,665,905	—	7,665,905
セグメント利益	886,569	37,751	924,321	3,912	928,233	△418,049	510,184

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、坐薬用包装資材等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△418,049千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。